

平成 20 年度

事業報告

〔 自 平成 20 年 4 月 1 日
至 平成 21 年 3 月 31 日 〕

社団法人新潟県水産振興協会

平成20年度事業報告書

食の安全や自給率の向上に関心が高まっている中、我が国の沿岸漁業は、国民生活に欠くことのできない動物性たんぱく食料を安定的に供給する重要な使命を担っている。

そのため沿岸水域における有用魚種等の種苗放流、稚魚の育成場となる藻場の造成、漁業の生活基盤である漁港漁村の整備、資源の適正管理による持続的利用の推進など「つくり・育て・管理する漁業」を強力に推進することが必要である。

その一翼を担う当協会では、佐渡事業所でヒラメ種苗の安定生産と中間育成による放流強化を行っており、最近のヒラメ資源は上向き傾向にある。一方、村上事業所では中間育成用のアユ種苗を安定生産し配布する他、河川直接放流サイズまで育成し放流を行った。またアワビ・クルマエビの種苗斡旋配布放流やモクズガニの試験種苗生産に取り組んだ。

次に水産基盤整備事業推進のためブロック協議会や全国漁港漁場大会等に参加し、国・県に対する予算措置の要請活動を積極的に行った。さらに、漁港漁場等の整備にかかる各種講習会・研修会の参加を図るとともに各種図書の斡旋を行った。

水産資源の維持培養と海の環境保全に対する意識の高揚を図るための「全国豊かな海づくり大会」が昨年9月7日新潟市で開催され、当協会で生産されたヒラメ・モクズガニの稚魚が両陛下を始め大会参加者によって放流されるとともに、大会前の「守り人」リレー放流を通じて、県民に魚と親しむ機会を提供することができた。

事業報告

I 種苗生産・放流等事業

1. 種苗生産事業

(1) 中間育成用のヒラメ・アユ種苗生産

種苗名	大きさ	計画数(千尾)	実績数(千尾)	備考
ヒラメ	全長 40 mm	560	880	佐渡事業所で生産
アユ	体重 0.5 g " 1.0 g	500 2,500	470 2,305	村上事業所で生産 4月以降の配布分を含む

(2) 「真野湾海洋牧場」ヒラメ種苗生産の受託

佐渡市から「ヒラメ海洋牧場」用のヒラメ種苗（全長 70 mm）約 6 万尾を生産した。

(3) モクズガニの種苗生産

種 苗 名	稚ガニ (0.05 g)	稚ガニ (4 g)	備 考
モクズガニ	330,000 尾	20,0041 尾	ふ化からゾエア期までの 生残率 6.1%

2. 栽培漁業推進事業

(1) ヒラメ種苗放流

放 流 内 容	全 長 (mm)	放流実績数(千尾)	備 考
会員自主放流	58～ 84	568	当協会生産種苗 当協会中間育成・囲網中間育成及び陸上飼育を実施
協会自主放流	58～104	312	当協会生産種苗 当協会で中間育成を実施
合 計		880	

(2) アユ種苗放流（直接河川放流魚）

種苗生産区分	体 重 (g)	放流重量 (kg)	備 考
協 会 生 産	5.2～8.7	3,660	村上事業所の他 3ヶ所に生産委託

(3) アワビ・クルマエビ種苗放流

種 苗 名	大 小 (mm)	放流実績	備 考
ア ワ ビ	殻長 30～40	527.3 千個	佐渡市・山形県・福島県・青森県・京都府から購入 (4～6 月放流) 山形県・青森県から購入 (10 月・3 月放流)
クルマエビ	体長 20～23	395.4 千尾	秋田県から購入(9 月)

(4) モクズガニ種苗放流

種 苗 名	甲 幅 (mm)	体 重 (g)	尾 数 (尾)	備 考
稚 ガ ニ	20.2	4.68	800	2 河川 (阿賀野川・荒川)
	7.0	0.21	10,800	3 河川 (阿賀野川・荒川・大川)

3. 研修会等の開催

上・中・下越の地区栽培漁業推進協議会に参加し現地漁業者との情報交換を行った。また県の水産業指導普及員や水産海洋研究所の栽培担当者とヒラメ放流効果についての検討会議を開催した。

名 称	年 月 日	会 場
上越地区栽培漁業推進協議会	平成 20 年 7 月 8 日	上越漁協能生支所「中瀬会館」
中越地区栽培漁業推進協議会	平成 20 年 5 月 24 日	出雲崎漁協「漁村センター会議室」
下越地区栽培漁業推進協議会	平成 20 年 5 月 31 日	村上市「石田屋旅館」
平成 20 年度ヒラメ等種苗放流会議	平成 20 年 7 月 3 日	新潟漁協会議室

4. 市場調査

ヒラメ栽培漁業資源回復等対策事業の調査に基づき、山北・岩船・新潟・上越・佐渡（両津）の 5 市場でヒラメの水揚調査と、放流ヒラメの混入率調査を実施した。また、DNA分析のため一部魚体のサンプリングを行った。

5. 第 28 回全国豊かな海づくり大会開催

第 28 回全国豊かな海づくり大会の中心的行事である「放流行事」において使用するヒラメ・モクズガニの種苗を海づくり大会実行委員会に提供する他に、大会前の「守り人」リレー放流においてもヒラメ種苗を提供した。

(1) 守り人活動

年月日	名 称	放流	清掃	場 所	参加人数 (人)	放流尾数 (尾)
H20. 6. 22	守り人リレー放流「ヒラメの放流」	○	○	寺泊海水浴場(長岡市)	300	1,800
6. 28	〃	○	○	関 屋 浜(新潟市)	100	1,000
7. 15	〃	○		岩 船 港(村上市)	100	2,000
7. 19	〃	○		寝屋漁港(村上市)	50	500
7. 21	全国一斉海浜清掃旗上げ式	○	○	日和浜海岸(新潟市) 小 針 浜(新潟市)	900	4,000
7. 22	守り人リレー放流「ヒラメの放流」	○		鷲崎漁港(佐渡市)	20	10,000
7. 23	〃	○		沢根漁港(佐渡市)	20	15,000
7. 29	〃	○		弁天海岸(糸魚川市)	100	20,000
8. 3	さかなクンと遊ぼう	○		巻 漁 港(新潟市) 南 浜(新潟市)	3,000	4,000
8. 10	守り人リレー放流「ヒラメの放流」	○	○	四ツ郷屋浜(新潟市)	1,000	1,000
合 計					5,590	59,300

(2) 大会「放流行事」

年月日	放流魚	放流尾数(尾)	備考
H20.9.7	ヒラメ モクズガニ	2,200 300	朱鷺メッセの信濃川岸壁から放流 両陸下・大会参加者名 600名

II 漁港・漁場事業

1. 漁港漁場大会への参加

(社)全国漁港漁場協会等が主催し、毎年開催される「漁港漁場大会」等に参加し、漁港漁場事業や漁港海岸事業の整備推進を期した。

- ・北日本地区漁港漁場協議会 7月22～23日 秋田県男鹿市（理事3名参加）
- ・第60回全国漁港漁場大会 10月14～16日 八丈島漁港視察（20名参加）
東京メルパルクホール（24名参加）

2. 水産基盤整備関係予算確保対策運動

水産業の振興と漁村の活性化を図るため、(社)全国漁港漁場協会をはじめとする水産関係団体と連携し、国等に対して、漁港漁場整備長期計画の着実な推進と次期社会資本整備重点計画（海岸事業）の策定に関する要望書を提出し、併せて水産基盤整備予算確保運動に積極的に参画した。

〔要請活動〕

- 平成20年10月16日 本県国会議員への要請活動
- 平成20年12月21日 平成21年度水産基盤整備関係予算説明会 東京石垣記念ホール

〔要望書〕

- (1) 沖合域における国直轄の漁場整備と沿岸域の環境保全対策の推進
- (2) 効率的な漁業生産と流通機能の強化に資する水産基盤整備の推進
- (3) 水産物の安定供給を支える、災害に強く快適で活力ある漁村づくりの推進
- (4) 次期社会資本整備重点計画（海岸事業）の早期策定と海岸整備の推進

3. 漁港・海岸ふれあいクリーンアップ支援事業

漁港や隣接する海岸の美化を図るとともに、漁業者と地域住民等との交流を促進するため、6地域の住民やボランティア団体等が実施する漁港・海岸等の清掃活動について支援を行った。

事業全体	実施月日	実施区域	参加団体・人数
糸魚川市	7月 3日 9月 20日	大和川海岸 "	大和川小学校 257人 "
糸魚川市	7月 6日	親不知海岸 市振海岸	歌外波地区住民 250人 市振地区住民 290人
粟島浦村	7月 13日	茂崎海岸	村民 30人 島外ボランティア 100人
佐渡市	7月 18日 7月 24日	多田海岸 松ヶ崎海岸	松ヶ崎小学校 23人 松ヶ崎中学校 42人

4. 研修活動

水産庁・(社)全国漁港漁場協会・(財)漁港漁場漁村建設技術研究所・(社)水産土木建設技術センターが主催する研修会に漁港関係者の積極的な参加を求め、技術の向上・習得を促した。

- ・漁港漁場講習会(12月)
- ・21年度事業説明会(1月)
- ・漁港漁場協会女性役員セミナー(3月)

5. 漁港関係資料の配付及び図書の斡旋

(社)全国漁港漁場協会等が発行の各種刊行物並びに機関誌「漁港」「漁港漁場月報」及び「漁港漁場漁村ポケットブック」等の会員等への配布や、関係図書の斡旋を行った。

6. 漁港漁場功績者表彰

社団法人全国漁港漁場協会から長年にわたる地方協会の役員や市町村の職員を勤務したことに對し、本県から2名が表彰された。

受 彰 者	役 職 名	年 数	備 考
小林 則幸氏 斉藤 俊蔵氏	理 事 課長補佐	20年 20年	出雲崎町長 村上市産業課